



としょかん
ばらっぱ 4・5・6



新学年にはそろそろ慣れたかな？学校で新しい席で新しい景色になって、担任の先生が変わった人もいるかもね。みなさんも上級学年、学校生活に関係した本を紹介するよ。自分の学校と同じところ、ちがうところ、見つけてみて！

学校の本

外国の小学校、
学校のものがたり。



「ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。」

マララ・ユスフザイ／口述
石井 光太／文
ポプラ社 37コ

マララ・ユスフザイさんはパキスタンのスワート地方の女の子です。「学校に行きたい」という希望を言ったために、武装グループに銃で撃たれてしまいます。

学校に通うことは



日本では義務教育で当たり前…。でも、世界の子どもの中には当たりのことがむずかしい場所もあるのです。

「写真でみる世界の子どもたちの暮らし 世界31カ国の教室から」

ペニー・スミス、
ザハヴィット・シェイレブ／編
あすなろ書房 37シ

この本には42人の子どもたちが登場します。みんなと同じ小学生ですが、国がちがえば、生活の様子もさまざまです。どんな学校生活を送って、どんなことに夢中になっているのかな。



「しごとば 続々」

鈴木 のりたけ／作
ブロンズ新社 36ス3

学校の先生にとって、学校は仕事場です。職員室は文房具、教材など、たくさんのものでいっぱい。どんなものがあるのか、じっくり眺めましょう。



「百まいのドレス」

エレナー・エスティス／作
岩波書店 93エ

クラスメイトのワンダが欠席しています。ワンダはいつも同じ洋服を着ていましたが、ある時「家に百まいのドレスを持っている」と言ったため、学校でからかわれるようになってしまいます。

ワンダが町を出ていった後、本当のことがわかります。



「国語の教科書は、なぜたて書きなの？」

高岡 昌江／著
アリス館 37タ

もともとたて書きだった日本語ですが、いつからよこ書きもするようになったのでしょうか。

その疑問を解決するために作者の高岡さんはあらゆる場所に調査にむかいます。





新しい本

地球のないたちと植物 へん 編



「海まるごと大研究 1 『海は動く』ってどういうこと？」

保坂 直紀／著 講談社 45ホ1

地球の表面の7割は海です。日本は、まわりをすべて海に囲まれ、私たちが住んでいる房総半島の近くを黒潮が流れています。このシリーズでは、海の水が青い理由や深海の不思議な世界、温暖化についても紹介します。



「火山噴火 何が起る？どう、そなえる？」

高田 亮／著 PHP 研究所 45タ

日本は世界でも有数の火山大国です。もし、火山が噴火すると、どのような災害が起り、わたしたちの暮らしにどう影響するのでしょうか。災害へのそなえも知っておきましょう。

「マイクロワールド大図鑑 1 植物」

富澤 七郎／監修 小峰書店 46ミ1

この本は、植物を電子顕微鏡で見た写真の図鑑です。地球は今から46億年前に誕生してから、41億年の間、地上は岩石ばかりの世界でした。植物が登場し、大地が緑になりました。植物は、電子顕微鏡でのぞくと、びっくりするような姿をしています。マイクロワールドを探索しましょう。



「くだものと木の实いっばい絵本」

ほりかわ りまこ／作 あすなろ書房 62ホ

食べられる植物といえば、野菜やくだもの。身の回りにあるくだもの名前の由来やレシピがいっぱいの本です。春のいちご、夏のさくらんぼ、秋のりんご、冬のみかんなど、季節ごとに旬のくだものがイラストで紹介されています。

「よくわかる植物工場 何をどうやって、育てているの？」

古在 豊樹／監修 PHP 研究所 61ヨ

植物工場では畑ではなく建物の中で野菜を作っています。天気や季節に関係なく一年中同じように野菜や花を作ることができるのです。工場の中で植物が育つしくみがわかります。



【図書館の利用案内】

- ★1人10冊 2週間かりられます。
- ★午前9時から午後5時まで開いています。
(大久保図書館は木曜日、午後7時まで開いています)
- ★お休みは、月曜日・図書整理日(第1金曜日)などです。
図書館カレンダーで確認してください。

大久保図書館 047-475-3213



本は10冊
まで2週間
かりられます

